

■佐野碩(セキ・サノ) 演出家。ソ連も追われ亡命したメキシコで巨大な足跡「演劇の栄光の時代」、帰国せずに没した。

さのせき

日露戦争終 1905= 清国天津の日本人租界で、日本共立病院長佐野彪太の子に生まれる。母静子は後藤新平の長女。
満鉄発足 1906= 1歳 一家で帰国。父がドイツ留学のため、母方の祖父後藤新平宅に寄留。結核性の急性関節炎に罹り、生涯右足が曲がらなくなる。

伊藤博文暗殺 1909= 4歳 帰国した父が東京神田小川町に佐野神経科を開業し、そこに住む。

韓国併合 1910= 5歳 妹淑子が誕生。

大逆事件判決 1911= 6歳 暁星小学校入学。まもなく、クラリネットを始める。

明治天皇没 1912= 7歳 第二郎が誕生。東京帝国大学法学部政治学科に入学した叔父佐野学が寄留、父が面倒を見る。

第一次大戦始 1914= 9歳 妹達子が誕生。

ロシア革命 1917= 12歳 弟新が誕生。暁星中学に入学、同級に今日出海。

ベルリン条約 1919= 14歳 開成中学に転校、同級に紀伊輝。

原敬首相暗殺 1921= 16歳

水平社結成 1922= 17歳 浦和高等学校文科丙類に入学。ともに進んだ紀伊を通じてロシア・アバンギャルド、とくにメイエルホルドの存在を知る。寮では今と同室となり、二人で音楽に熱中、学内で演奏会やレコードコンサートを開く。

関東大震災 1923= 18歳 震災に衝撃受け、父の病院入院患者の面倒をみる。妹淑子が急逝、墓石をデザインし、自分も死後入りたいと希望。_寮祭に、寮記念祭歌を作曲、「戦時の花嫁」演出、演劇にのめりこみ始め、2度目はシュミット・ボン「ディオゲネスの誘惑」演出。さらに、社会のために、紀伊中心の(劇研究会)結成に参加。

護憲三派圧勝 1924= 19歳 (劇研究会)で演出や出演、築地小劇場開場に通う。寮祭の演劇が、文部大臣通達により中止。
治安維持法 1925= 20歳 卒業し、東京帝国大学法学部法律学科に入学。演劇集団(シアタア・ムンツ)の創立に参加するも中心人物紀伊が死去し解散。(社会文芸研究会)の創立に参加、中野重治らと知合う。

日本時代始 1926= 21歳 (新人会)に加わり、共同印刷争議に慰問公演に来た日本初の移動演劇(トランク劇場)と知合い、その一員として、労働争議支援の「無産者の夕」で初演出、才能を認められる。アプトン・シンクレア「二階の男」で翻訳者としてもデビュー。(前衛座)の創立同人となり宣言文を起草、旗揚げ公演も演出、

金融恐慌 1927= 22歳 前衛座分裂で創設された劇団(プロレタリア劇場)に所属し演出。青森で公演中に拘引される。
共産党事件 1928= 23歳 再び前衛座と合同の劇団(東京左翼劇場)創立メンバーとなる。諸活動に生家や病院の自動車を提供。全日本無産者芸術団体協議会(略称ナップ)の評議委員となる。

世界恐慌 1929= 24歳 祖父後藤新平が死去。*左翼劇場公演「ダントンの死」を村山知義と共同演出、群衆場面の演出を高く評価され、劇中で「ラ・マルセイユーズ」をフランス語で歌わせ、即禁止。続いて「全線」を演出、絶賛され、戦前の最高の舞台の一つと言いつた。劇中中国語で歌わせた「インターナショナル」を訳詞、現在もそのまま歌われる。女優平野郁子(本名高橋二三子)と結婚。プロット書記長となり、中村栄二と綱領作成。

海軍軍縮条約 1930= 25歳 プロット幹部大量逮捕で拘留、リンチで耳に後遺症。父による海外留学名目の保釈工作受入れ、ドイツ語を習いはじめる。警察から、叔父佐野学の転向と断念勧奨する手紙を渡され、衝撃。

満州事変 1931= 26歳 妻(のち逮捕)と3人の子を残し、_密かに、モスクワでのIATB(国際労働音演劇同盟)日本代表となり、亡命の形で渡米、石垣綾子夫妻や演劇人・左翼主義者と交流、ベルリン経由で、観光装いでソ連に密入国、

五一五事件 1932= 27歳 IATB総会で報告して賞賛。(国際演劇)編集委員で滞在許可、エイゼンシュテイン、_メイエルホルド知り、
国際連盟脱退 1933= 28歳 IRTB局員のボリソフと知合い同棲、のち一女が誕生。土方与志一家のソ連密入国に尽力。叔父の獄中転向声明を知り、片山潜の葬儀に参列。外国人の劇団活動参加が認められ、_メイエルホルドの助手となるも、

帝人疑獄事件 1934= 29歳 日本のコップとプロットの解散で保証人失い、メイエルホルドはソ連芸術界から追放標的で、_窮地に。
日中戦争始 1937= 32歳 妻子同伴も認めない。突然の外国退去命で、パリに赴き、アメリカ入国ビザ申請も身元照会でも却下され、
健保+総動員 1938= 33歳 日本の新聞に売国奴扱いの記事。_ブラハに赴いて、短期ビザ取得し渡米、日本大使館による妨害でエリス島に拘留されるが、石垣綾子らの支援団体活動に救われて入国後、唯一受入可能性ある国と知った

第二次大戦始 1939= 34歳 *メキシコに渡り、日本領事館の妨害に逢うも、大統領へ請願、文化人らの援助で入国を果たす。メキシコ電気労働組合の文化活動に関り、芸術劇場舞踊部・演劇部(テアトロ・デ・ラス・アルデス)設立して訓練開始、新劇場建設をアドバイス。舞踊部指導者ウォルディーンと親しくなり同棲、以後両輪となって活動。

大政翼賛会 1940= 35歳 演劇学校開校、以後俊秀育成。ウォルディーン振付で、芸術劇場舞踊公演「ラ・コロネラ」が大成功。
日米開戦 1941= 36歳 芸術劇場旗揚げ公演「吊るされし者の反逆」が大成功となるも、電気労働組合との関係悪化し、離別。以後、孤立し、生活も苦しくなるが、日米開戦後、日本人が行動規制を受けるなか、自由は保証され、
1942= 37歳 国立芸術殿堂内に私設の演劇学校を作り、街頭劇「武装せるメキシコ」を大統領が出席する大集会で上演するも、精神状態が不安定となり、ウォルディーンとも離別。

敗戦 1945= 40歳

新憲法公布 1946= 41歳 スタインベック「二十日鼠と人間」改題した「荒々しい力」を演出、アメリカ人や演劇人に見せ、支持得る。
新憲法施行 1947= 42歳 芸術庁の援助で、芸術劇場の学校を開き、「サン・ディエゴ修道院跡のサノの学校」として著名となる。
極東裁判判決 1948= 43歳 *テネシー・ウィリアムズ「欲望という名の電車」を演出し、演劇批評家賞受賞し、演出者としての地位確立。

三大事件 1949= 44歳 演劇学校の最初の生徒マリア・ダグラスも主演女優賞。
朝鮮戦争始 1950= 45歳 日本の弟に英文手紙。_政府主催事業でシエクスピア「じゃじゃ馬ならし」演出、「欲望という名の電車」再演して、名声高まるも、俳優とのトラブルで国外追放の危機。メキシコ創作劇バエズ「目の中の針」演出、
独立回復 1951= 46歳 母が死去。_以後、毎年のように、世界の名作を演出、メキシコ創作劇も演出して、演劇振興に努め、

メテオ事件 1952= 47歳 (読売新聞)が佐野のインタビューを掲載、健在を報道。
テレビ放送始 1953= 48歳 最初の心臓発作。(朝日新聞)もインタビューを掲載。

自衛隊発足 1954= 49歳 弟新が来墨し23年ぶりに再会。_女優を配役から降ろして排斥運動が起き、しばらく仕事を失うも、
55年体制始 1955= 50歳 コロンビア政府にテレビ・映画俳優の養成を依頼され赴くが、政治介入したとして国外退去。

国連加盟 1956= 51歳 父が死去。モーツァルト「魔笛」演出。_芸術庁の依頼でアーサー・ミラー「るつぼ」演出し演劇批評家賞で、
なべ底不況 1957= 52歳 仕事を再開。スターリン批判に伴い電気労働組合からも演出依頼。ソ連時代の妻とも連絡。

インスタマン 1958= 53歳 林房雄と再会。林の仲介で、初めて日本大使に会い、日系人による(セキ・サノの歓迎会)に出席。アーサー・ミラー「橋からの眺め」演出し、演劇批評家賞。

美智子妃 1959= 54歳 ソ連からメイエルホルドの名誉回復の知らせの手紙も来た。
安保闘争 1960= 55歳 2度目の心臓発作、弟新が妻を伴って来訪し、帰国の相談。

イタイ病始 1961= 56歳 (読売新聞)にインタビュー記事。林房雄、村山知義、千田是也から帰国勧誘手紙、今東光も来墨し説得。
全国総合計画 1962= 57歳 日本ペンクラブ・日本演劇協会・読売新聞から日本への招待電報がくるも、_自分自身のプロデュース、演出・教育の拠点劇場(コヨアカン劇場)設立を計画、古い教会の改装を始め、

TV宇宙中継始 1963= 58歳 シケイロスが服役中の刑務所で受刑者による演劇を計画。なお帰国打診、資金も約束されるが、3度目の心臓発作で入院し、仕事を続ける。_(コヨアカン劇場)開場。

東京リビウ 1964= 59歳 グアテマラに赴き、演技についての集中講義。_来墨した皇太子夫妻が(コヨアカン劇場)での黒沼ユリ子の演奏を聴くにあたりホスト役。「夕鶴」上演を準備、スペイン語版台本が完成、木下順二から上演許可、
大学紛争始 1965= 60歳 石垣綾子が来墨し27年ぶりに再会。たびたび心臓発作が起きるなか、
いざなぎ景気 1966= 61歳 *稽古に入るまでになる一方、大劇場用に「桜の園」の上演台本を完成し、アリシア・レアルと、スタニスラフスキーとメイエルホルドを統合・上揚する俳優教育論と演劇論をスペイン語でまとめる計画を進め、ほぼ完成させ、入院しながらも仕事を続けるが、自宅に戻った日に、没した。

岡村春彦「自由人佐野碩の生涯」、斎藤憐「異邦人=ボーダレス・ラブ」、